

第2章 良好な景観形成の基本的な考え方

1 景観形成の基本理念

良好で特色ある景観を創出・保全し、地域の魅力を向上させ、交流人口の増加や定住人口の減少抑制を図るため、次に定める景観形成の基本理念に基づき、地域に活力を生み出す景観づくりに取り組めます。

■基本理念

豊かな自然と歴史に彩られる 輝くみどり

■彩り

四季折々の自然景観や、笠懸、大間々、東の3地域に残る歴史を保全・活用して次世代に引き継ぐことで、みどり市が華やかに彩られる姿

■輝く

東京都心から 100km圏内にありながら、市の北部には赤城東麓の森と足尾山地の緑が輝き、渡良瀬川の清流が輝く姿と、南部の丘陵、そのすそ野に広がる田園の緑が輝く、「みどり市」の名前にふさわしい豊かな自然の様子

また、笠懸、大間々、東の3地域に暮らす老若男女すべての市民が安全に安心して生き生きと暮らす姿、そして、みどり市を訪れるたくさんの人々と市民が交流し、日々の生活を楽しみ、笑顔が輝く姿

2 景観形成の基本方針

基本理念を達成するために、景観形成の基本方針を前章で整理した5つの景観資源の類型別に設定します。

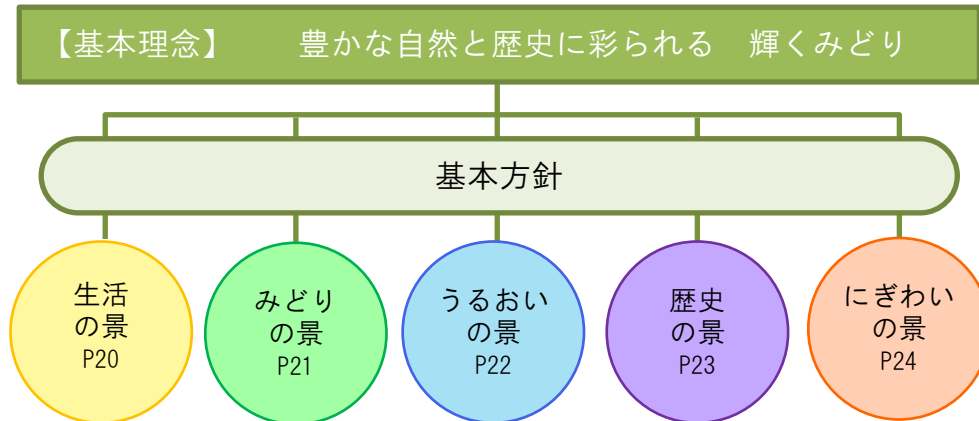


図 2-1 景観形成の基本方針

3 景観計画区域

市全域に存在する景観資源を保全・活用し、良好な景観形成を進めるため、本計画の対象となる景観計画区域は、本市全域とします。

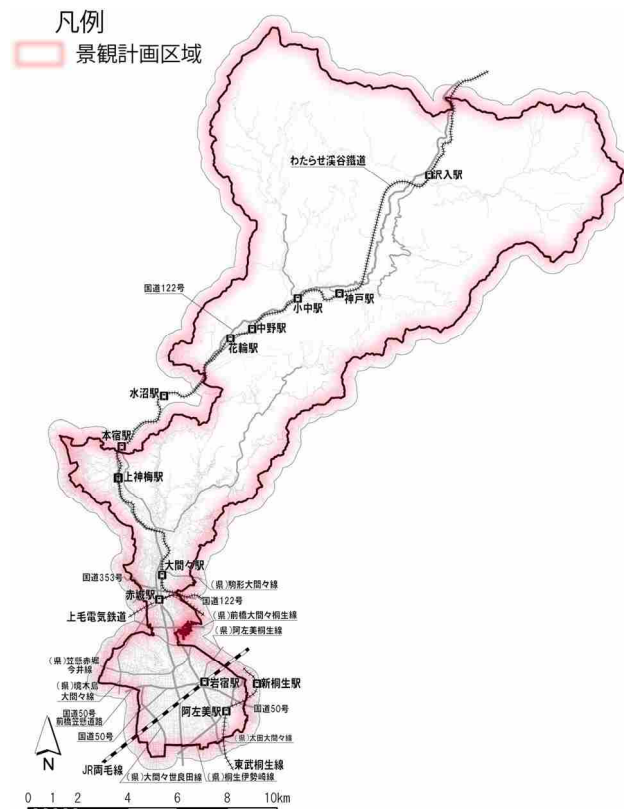


図 2-2 景観計画区域

4 5つの景の景観形成の基本方針

(1) 生活の景

■土地利用に応じた魅力ある景観づくり

良好で特色ある景観の創出・保全を通じ、地域の特性に合った景観づくりを進めます。

【住宅地】 快適に暮らせる住宅地景観づくり

周辺の建築物や自然環境と調和した景観づくりを行います。



住宅地の景観

【商業地】 にぎわいある商店街の景観づくり

大間々町の本町通りや幹線道路沿道の商業地においては、にぎわいのある景観づくりを行います。店舗等については、にぎわいを創出しながらも、周辺と調和するよう配慮します。



商業地の景観

【工業地】 周辺環境に配慮した工業地景観づくり

周辺の景観に配慮しながら、良好な工業地景観の形成を図ります。敷地周辺部の緑化を図るなど、道路からの眺めに配慮します。



工業地の景観

【農業地】 良好な営農環境を有する田園景観の保全・整備

笠懸町の大田んぼなど、豊かな田園が広がる場所については、良好な営農環境を有する田園景観として保全・整備を図ります。



農業地の景観

(2) みどりの景

■良好な山並み景観の保全

市の北部の足尾山地や鹿田山などの市街地から見える山並みは、みどり市特有の自然景観です。また、群馬県を代表する山である赤城山も市内各所から望見することができ、その雄大な姿は多くの市民から愛されています。市街地等からの山々の見通しを確保するなど、眺望に配慮した景観づくりを行います。



袈裟丸山

■山林や樹林の保全・活用

市北部に広がる豊かな山林のほか、丘陵地に見られる樹林地など、市街地に近接した貴重な緑地を保全し、みどり豊かな景観づくりを行います。

また、産業基盤となる山林で優良なものは適切に保全します。



東町からみる森林

■自然景観、自然環境の保全・育成

市民に親しまれている四季折々の風景は、市民とともに守り、育みます。

また、ソーラーパネルなどの工作物を設置する際は、周辺景観に配慮したルールづくりを行います。



鹿田山の菜の花

■良好な自然環境と調和した集落景観づくり

東町や大間々町の山間部にある自然に囲まれた集落地においては、周辺の良好な自然環境と調和した集落景観の形成を図ります。



集落地(花輪宿)

■自然資源と鉄道が調和した景観づくり

わたらせ渓谷鐵道沿線は、美しい自然資源と調和した良好な景観が形成されており、市民や来訪者から親しまれています。

今後も車窓から見える景色や豊かなみどりと列車が調和した風景を適切に保全します。



わたらせ渓谷鐵道沿線

(3) うるおいの景

■うるおいのある景観づくり

渡良瀬川や草木湖、高津戸峡などの河川や湖沼の保全・活用により、うるおいのある景観づくりを行います。

特に草木湖については、草木ダム水源地域ビジョンに基づいて、関係機関と連携して湖周辺の植樹やイベントの開催を実施し、良好な自然環境の形成を進めます。

あわせて、小河川や水路については、人と自然とのふれあいの場、市民の身近なやすらぎの場となるよう多自然川づくりを進めます。

さらに、良好な水辺空間を維持・創出するために、周辺に建物や工作物を建てる際は、水辺空間に配慮します。



渡良瀬川



高津戸峡

■水とみどりの拠点づくり

高津戸峡などは周辺の自然景観とともに観光資源として活用・充実します。

また、草木湖や阿左美沼周辺は、観光やレクリエーションの場となることも考慮して、自然と親しむことができる景観づくりを検討します。



草木湖

■水辺空間の適切な維持管理

ゴミの不法投棄の防止など、水質の浄化、水辺環境の保全・向上に努め、良好な水辺景観づくりを行います。



鹿の川沼

(4) 歴史の景

■ 歴史的街並みの形成

歴史のある建築物と調和した市街地の保存と創造に努めます。特に、大間々町の本町通りや銅山街道の沿道、東町の花輪宿においては、歴史的街並みの復活を目指すため、観光にも配慮した歴史的な景観づくりを行います。

また、歴史的建造物である旧大間々銀行(大間々博物館)や旧花輪小学校記念館などの文化財公開施設が、永続的に保存・活用されるよう、計画的な修繕を行うとともに、活用内容の充実を図ります。

さらに、魅力ある歴史的な景観を維持・創出するために、周辺に建物や工作物を建てる際は、歴史的な資源に配慮します。



大間々町の蔵のある街並み



旧大間々銀行
(大間々博物館)

■ 史跡・文化財の保存

市内に多数ある史跡・文化財の重要性を市民に周知し、価値を維持・向上できるよう適切に保護・整備・継承します。

さらに、史跡・文化財を核とした景観づくりに積極的に取り組みます。



旧花輪小学校記念館

(5) にぎわいの景

■観光資源を活用した魅力ある景観づくり

岩宿遺跡、ながめ余興場、小平の里などの周辺では自然資源や歴史資源を守り、魅力ある景観づくりを行います。



ながめ余興場
(関東菊花大会)

■伝統文化の継承とにぎわいのある景観の保全

大間々祇園まつりや草木湖まつりなど、郷土に伝わる歴史や伝統文化等に関する地域資源の保護・継承に努め、にぎわいのある景観を保全します。



大間々祇園まつり

■にぎわいのある景観の創出

新たな観光スポットの整備やイベントの開催などによるにぎわいのある景観づくりに積極的に取り組みます。

コラム

2

魅力のある建築物

本市の各地域のシンボルとなっている、周辺の景観と調和した魅力のある建築物を紹介します。

富弘美術館

水彩の詩画を通して生命の尊さ、やさしさを語りつづける星野富弘氏の作品を一堂に公開する美術館。平成3年(1991年)に開館し、その後、美術館建設国際設計競技による建築デザインにより、平成17年(2005年)にリニューアルしました。現在の建物は、シャボン玉をイメージした大小さまざまな丸い空間が集まった造りとなっており、隣接する草木湖や緑豊かな山々に囲まれたロケーションが、近代的な建物をより一層引き立てます。

[場 所] 東町草木

[景観資源] みどりの景



ながめ余興場

高津戸峡の眺めが良いことから名付けられた「ながめ公園」の一角にある劇場。昭和12年(1937年)に建てられた木造二階建ての建物は、廻り舞台や花道もある本格的な造りのほか、歌舞伎座を模したと言われる玄関口が昭和の面影を色濃く残しています。ながめ公園内は、春に桜やツツジの名所となり、秋には関東菊花大会が開催されて大勢の来訪者でにぎわいます。

[場 所] 大間々町大間々

[景観資源] 生活の景、歴史の景、にぎわいの景

[その他] みどり市指定重要文化財



岩宿博物館

日本に旧石器時代の文化が存在したことを証明した「岩宿遺跡」に関する資料を中心に展示する博物館。平成4年(1992年)に開館した建物は、岩宿遺跡から発掘された“黒曜石の石槍^{いしやり}”をモチーフとした三日月形のドームが特徴であり、地域のシンボルとなっています。また、周辺にある鹿の川沼、稲荷山、琴平山とともに風致地区内に位置し、周辺環境との調和にも配慮したデザインとなっています。

[場 所] 笠懸町阿左美

[景観資源] 生活の景、歴史の景

